

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月16日から18日の3日間にわたり11人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

平栗 征雄

[政策ネットワーク二本松]



- 一人暮らしの高齢者対策について
- 二本松市の公衆トイレ設置について

問

- ①各地区の一人暮らしの高齢者は何人か。
- ②市の対応・対策について



(市民交流センターの外トイレ)

- ①安達油井地区と旧市内にトイレ設置は何箇所ありますか。
- ②亀谷・御免町公園内にトイレ設置はありますか。

答

- ①二本松地区466人、安達地区136人、岩代地区133人、東和地区79人の合計814人です。
- ②配食サービス事業、日常生活用具等給付事業、緊急通報システム事業等を行っています。
- ①緑地及び公園・駐車場で、安達油井地区4箇所、旧市内7町に18箇所の計22箇所です。
- ②施設の所有者は県であり、協議を要するため今後の検討課題とします。

高橋 正弘

[政策ネットワーク二本松]



- 新たな過疎振興計画について
- 市議会議員選挙開票について

問

- ①過疎地域である東和・岩代地域の整備をどう図るのか。
- ②当選確定が遅れたと報道にあったが、その理由は。



(開票状況写真)

答

- ①東和・岩代地域の社会資本、生活環境の整備は無論、豊かな自然環境、特産農産物、観光果樹園などの農業資源、祭りや伝統行事と共に受け継がれてきた名所旧跡・景勝地などの地域観光資源を生かすと共に情報発信、都市住民との交流、定住等を図って参りたい。
- ②今回の選挙では、得票が平均化しており、疑問票の有効、無効の判定いかんによっては、順位が入れ替わることも十分考えられたため、特に慎重を期して行ったため。

小林 均

[公明党]



- 子ども読書環境の更なる充実について
- 二本松市の口蹄疫対策について

問

- ①「子ども読書活動推進計画」の今後の取り組みについて
 - ②子ども達の読書活動の実態及びボランティア活動について
 - ③ブックスタート事業について
- ①口蹄疫から二本松市の畜産業を守るための取組みについて
 - ②宮崎県での口蹄疫流行が本市の畜産業に与える影響等について
 - ③万が一、口蹄疫が本県で発生した場合、県との連携も含めた危機管理体制について

答

- ①本年度中に作成する予定である。
 - ②小学校は朝の読書の時間・昼休みの放送で読み聞かせを実施。中学校は朝の読書の時間を活用。小学校保護者の協力に感謝する。
 - ③8月から、4か月健診時に開始。
- ①5月21日に市口蹄疫会議を設置。その後、あだち農業振興協議会で啓発チラシと消石灰の配布を進めた。HP・広報でも周知。
 - ②肉用牛の数では影響は限定的。
 - ③県と一体となり水際での防止や拡大の封じ込め、清浄化を推進。

平 敏子

[日本共産党二本松市議団]



- 子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン接種への助成について
- 子育て支援策について

問

- ①子宮頸がんは予防できるガンとしてワクチン接種が注目されているが、1人3回で5万円かかる。ヒブ（細菌性髄膜炎）は子供にとって怖い病気で死亡率5%、後遺症20%といわれており、若い夫婦の接種費用負担は大変です。そこで本市で実施した場合にかかる費用はいくらか。
 - ②本市の助成実施に対する見解は。
- ②都市公園のふるさと村を水遊びや、弁当を持って1日過ごせる公園として、整備充実はできないか。

答

- ①子宮頸がんワクチン接種を12歳女子生徒全員に実施すると1,400万円。ヒブワクチン接種は2ヶ月児から5歳児未満の乳幼児が対象、5歳児未満に接種すると3,100万円必要となる。
 - ②県、全国市長会を通じ早期に定期予防接種に位置付け接種費用軽減等、国に強く要望していく。
- ②子供館の施設や遊具、園路、植栽等を整理し、いつでも安心、安全に、自由に遊べる公園として利用できるよう庁内で検討している。


佐藤 源市

[政策ネットワーク二本松]



- コミュニティバス運行について
- 農業振興策について

問

- ①運行開始からの乗車状況と今後の運行経路、乗車時刻等の市民の要望をどの時期に改正実施するのか。
- 
- (東和地域コミュニティバス)
- ②①口蹄疫対策と今後について
 - ②中山間直接支払、農地水保全向上対策の加入状況と今後について
 - ③水田戸別補償モデル対策状況は。
 - ④地域担い手育成事業の取り組み状況は。

答

- ①東和地域1日通学688名、一般20名程度。当初の予測を若干下回る。今後問題点を改善。2学期下校便を変更。随時見直しを行う考え。
- ②①防疫措置の再徹底の周知。県が石灰消毒液を農家へ配布する。
- ②小規模高齢化集落の協定用地の取り込み推進。8月末まで申込。
- ③227箇所制度申請書の説明、加入提出率48%。
- ④25件、事業費7,600万円採択、認定農業者団体等の活動が遅滞しないよう実施する。

新野 洋

[政策ネットワーク二本松]



- 人口増加対策検討委員会について
- 若宮・野辺線整備事業、竹田根崎地区の整備について

問

- 1年間に700人以上という減少スピードは異常であり二本松市の存続に係る。そして人口の減少は財政の悪化に直結していく。
私の提言により設置されることになった検討委員会のメンバー構成、会議開催日程、さらに結論を出す時期、及び関係予算の増額等の考えはあるのか。委員会の答申を尊重して政策に反映させていくのか。
- 整備事業の完了予定年度はいつか。そして今後の地域活性化の取り組みについて考えはあるのか。

答

- 庁内各部から推薦された係長以下のクラス16名で構成、会議は月2回程度開催、結論は来年度の予算編成に向けて方策を盛り込みたい。検討の進み具合により必要なものは予算確保したい。
- 家屋等の移転補償は残り1件となった。電線地中化も併せて進めており、平成24年度を完了目標にしている。今後はソフト事業が中心となり、各種団体の連携を強化し、必要な事業支援と連絡体制の強化に努めていく。

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- 乳幼児健診について
- コミュニティバス運行の改善について

問

- 幼い子を連れて安達まで行くのはたいへん。待ち時間も長いので合併前のように身近な岩代や東和の保健センターで健診できるようにすべきと考えるが。
- 東和・安達で4月にスタートしましたが、市民から「たいへん不便になった」「お年寄り泣かせのバスだ」等の声が出ています。お年寄りや体の不自由な方は乗換えがたいへんなので、病院や駅までの運行はできないか。時刻表が小さくて見づらいなど改善すべき。

答

- 二本松・安達の各保健センターの2会場で健診を実施。健診が複数回あるため月齢に応じた発達確認ができるなど受診できる。安達医師会から最大限協力を得ており、今までどおりの体制で実施していく。
- よりスムーズな乗り継ぎが確保できるよう適時見直し、利用しやすいバスにしていく。時刻表については、改善すべき点があるので今後適切に措置していく。

斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- 国民健康保険税率の改定について

問

- 国保税は1人当たり平均医療分で7.2%、介護分11.7%値上げが提案されていますが、所得200万以下の世帯が82%におよび、一般会計から繰入れて国保税を引き下げるべきではないか。
- 国保税引き上げの大きな原因は、国の国保に対する負担割合を引き下げたことあり、その影響は。
- 国保税の滞納額は6億49万円にのぼり、これ以上の引き上げでは収納率の向上は限界ではないか。

答

- 国から示された基準に基づいて一般会計から繰入れているが、市独自の繰入れは、予期しない医療費の増大のために慎重に対応したい。
- 療養給付費国庫負担については、平成22年度ベースで4億9千7百万円減となり、全国市長会等を通じて強力に要請したい。
- 平成20年度収納率は「過去最低、最大の下降率」となった。厳しい雇用状況の下、被保険者の負担は厳しいものがあると認識している。

安部 匡俊

[政策ネットワーク二本松]



- 小学校跡地利用について
- 公共交通機関のあり方について

問

- ① 解体に関わる予算、年次計画、公売計画、22年度以降の管理、貸借及び貸借条件等について
- ② コミュニティバス運行で予算上はどのくらい縮減されたのか。旧二本松市で運行されている「ようたすカー」の運行範囲拡大をしてはどうか。市内全域においてコミュニティバスや福祉車両等利用の統一を図るべきではないか。

答

- ① 直ちに全ての校舎等を壊すことは財政的に困難。民間での活用を優先。不用品は撤去し更地とし売却。今年度募集要項を策定し募集を開始。解体については、来年度以降年次計画で予算を措置する。貸借は雇用の確保につながれば認める方針。
- ② 年間約4,700万円削減されると試算。「ようたすカー」等の運行拡大については、コストの増大、運輸局からの運行免許等の課題があり当面は考えていない。

斎藤 康晴

[市政刷新会議「未来」]



- 財政運営について
- 市政運営基本条例について

問

- ① ① 営利企業の黒字は利益であり、自治体の黒字は性格が違うが、平成21年度決算で10億円以上の黒字(余剰金)の要因は。
② 合併後10年で合併特例期間が終了後の地方交付税の見込みは。
③ 下水道料金の見通しは。
- ② ① 最上位に位置する「市政運営基本条例」第6条2項に行政評価が明文化されている。これまで何度実施したか。
② 市民から評判が悪いが、市民交流拠点施設の評価は。

答

- ① ① 国から特別交付税が4億5千万円以上多く来たことと、歳入が予算より上回ったことなどが要因と考えている。
② 合併特例期間が終了すると、19億円程度減額される見込み。
③ 4、5年程度で値上げになる。
- ② ① 行政評価は事務事業を点検し、毎年実施すべきと認識しているが、平成21年度に初めて試行的に実施し公開した。
② ロータークラブや企業からの評価は高い。

中沢 武夫

[無所属]



- 三保市長在職中は、副市長不在で市政運営に当たると理解してよろしいか。

問

- ① 平成20年3月に前副市長が退任され、現在まで2年3箇月間不在の状態にあり、その後何の動きもなく、又、議会の質問に対しては「総務部長を始め、各部長、組織一体となって不在の影響がないよう努めておるところであり、努めて参ります。」と答弁しております。市長は、副市長不在でも何ら市政運営に影響ないと認識しておりますことから、三保市長在職中は副市長不在で市政運営に当たると理解してよろしいか。

答

- ① 副市長は、市長を補佐し、市長の命を受けて政策・企画をつかさどり、その補助機関たる職員の担任する事務を監督するとともに、市長が不在のときにはその職務を代行し、業務の詳細について検討を行ったり、市長の判断が不要な事案の決定や処理を行うなどの職務を担う役職であります。市政運営には必要なポストであると考えております。

新議会スタート

初議会（7月12日）新議会構成決まる

議長に斎藤賢一氏、副議長に平塚與志一氏が就任

議員改選後の初議会となった7月臨時会は、7月12日に開催されました。選挙の結果、議長には斎藤賢一氏、副議長に平塚與志一氏が当選、就任しました。

次に、4常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任が行われ、それぞれ正副委員長を選任し、新しい委員会が下表のとおり構成されました。

また、安達地方広域行政組合議会議員には、議長のほか指名推選により7人の議員が就任し、福島地方水道用水供給企業団議会議員には、指名推選により斎藤賢一議員が就任しました。

<p>所管事項</p> <p>議会、総務部、会計課、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項（支所において取り扱う事務を含む。）</p>	<p>総務常任委員会</p> <table border="1"> <tr> <td>委員長</td> <td>高橋正弘</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>堀籠新一</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>熊田義春</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>中田涼介</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>野地久夫</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>鈴木利賢</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>斎藤賢一</td> </tr> </table>	委員長	高橋正弘	副委員長	堀籠新一	委員	熊田義春	〃	中田涼介	〃	野地久夫	〃	鈴木利賢	〃	斎藤賢一	<p>市民産業常任委員会</p> <table border="1"> <tr> <td>委員長</td> <td>菅野明</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>佐藤公</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>深谷勇</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>菅野寿</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>小林均</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>新野洋</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>佐藤源</td> </tr> </table>	委員長	菅野明	副委員長	佐藤公	委員	深谷勇	〃	菅野寿	〃	小林均	〃	新野洋	〃	佐藤源	<p>所管事項</p> <p>市民部、産業部、農業委員会及び工業団地造成事業所の所管に属する事項（支所において取り扱う事務を含む。）</p>
委員長	高橋正弘																														
副委員長	堀籠新一																														
委員	熊田義春																														
〃	中田涼介																														
〃	野地久夫																														
〃	鈴木利賢																														
〃	斎藤賢一																														
委員長	菅野明																														
副委員長	佐藤公																														
委員	深谷勇																														
〃	菅野寿																														
〃	小林均																														
〃	新野洋																														
〃	佐藤源																														
<p>所管事項</p> <p>建設部、宅地造成事業所及び上下水道部の所管に属する事項（支所において取り扱う事務を含む。）</p>	<p>議会運営委員会</p> <p>臨時会を含む次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項</p> <table border="1"> <tr> <td>委員長</td> <td>中田涼介</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>佐藤源市</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>熊田義春</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>本多実</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>菅野明</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>安部匡</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>野地久夫</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>五十嵐勝蔵</td> </tr> </table>	委員長	中田涼介	副委員長	佐藤源市	委員	熊田義春	〃	本多実	〃	菅野明	〃	安部匡	〃	野地久夫	〃	五十嵐勝蔵	<p>建設水道常任委員会</p> <table border="1"> <tr> <td>委員長</td> <td>斎藤周一</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>佐藤部匡</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>安斎藤広</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>平栗征</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>平塚與</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>志一</td> </tr> </table>	委員長	斎藤周一	副委員長	佐藤部匡	委員	安斎藤広	〃	平栗征	〃	平塚與	〃	志一	<p>所管事項</p> <p>福祉部、福祉事務所及び教育委員会の所管に属する事項（支所において取り扱う事務を含む。）</p>
委員長	中田涼介																														
副委員長	佐藤源市																														
委員	熊田義春																														
〃	本多実																														
〃	菅野明																														
〃	安部匡																														
〃	野地久夫																														
〃	五十嵐勝蔵																														
委員長	斎藤周一																														
副委員長	佐藤部匡																														
委員	安斎藤広																														
〃	平栗征																														
〃	平塚與																														
〃	志一																														
	<p>文教福祉常任委員会</p> <table border="1"> <tr> <td>委員長</td> <td>本多勝実</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>五十嵐勝蔵</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>安斎政保</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>浅川吉</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>平敏子</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>市川清</td> </tr> </table>	委員長	本多勝実	副委員長	五十嵐勝蔵	委員	安斎政保	〃	浅川吉	〃	平敏子	〃	市川清																		
委員長	本多勝実																														
副委員長	五十嵐勝蔵																														
委員	安斎政保																														
〃	浅川吉																														
〃	平敏子																														
〃	市川清																														

安達地方広域行政組合議会議員	斎藤賢一	安斎政保	堀籠新一	中田涼介
	浅川吉寿	平敏子	斎藤周一	平栗征雄
福島地方水道用水供給企業団議会議員	斎藤賢一			

市民と共にスタート 新議会議員紹介

議席番号

氏名
年齢(7月1日)
住所
電話番号



1
ひらつかよしいち
平塚與志一(59)
錦町二丁目251番地
☎23-2197



2
くまたよしはる
熊田義春(52)
原セオ木321番地
☎23-2051



3
あんざいまさやす
安斎政保(57)
上川崎字七島67番地
☎52-2704



4
ふかやゆうきち
深谷勇吉(61)
不動平303番地
☎24-2566



5
すがのとしお
菅野寿雄(55)
下長折字藤26番地
☎55-3081



6
ほりごめしんいち
堀籠新一(60)
杉沢字清ノ内10番地1
☎57-2737



7
さとう たもつ
佐藤有(62)
蓬田376番地
☎23-6236



8
さとうまさのり
佐藤公伯(64)
吉倉字広田39番地
☎024-567-4810



9
ほんたかつみ
本多勝実(45)
小浜字芳池3番地24
☎55-2186



10
かんのあきら
菅野明(53)
杉沢字平32番地
☎57-2512



11
なかだりょうすけ
中田涼介(53)
郭内一丁目80番地1
☎22-6440



12
こばやしひとし
小林均(54)
休石原37番地2
☎23-5580



13
あべまさとし
安部匡俊(56)
木幡字塩沢69番地
☎46-2869



14
あさかわよしじ
浅川吉寿(56)
浅川153番地
☎22-2336



15
たいら としこ
平敏子(57)
茶園一丁目31番地10
☎23-1169



16
しんのひろし
新野洋(59)
郭内一丁目32番地3
☎22-0768

就任あいさつ

議長 齋藤賢一

このたびの市議会議員一般選挙後の議会において、議員各位のご推挙をいただき、議長のお任に就任いたしました。定数減により各議員の責任が増す中で議長を務めること、身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重大さを痛感しております。

市議会は、本市の重要施策等の意思を決定する議決機関であります。幕末の志士、坂本龍馬が原点とされている明治政府の五箇条の御誓文の一節「広く会議を興し、万機公論に決すべし」を基本理念に本市の将来について、誤りのない選択、判断をするため議論を重ね、活発な議会運営が行われるよう、議員一丸となつて努力、邁進して参ります。

すべては市民のために、市民の福祉向上と市政発展のために最善の努力をし、市民の皆様の負託にこたえて参る所存でありますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



17 のち ひさ お
野地 久夫 (59)
下川崎字東北62番地
☎ 52-2310



18 さい とう ひろ じ
齋藤 広二 (60)
油井字油井町135番地
☎ 53-2996



19 さ とう げん いち
佐藤 源市 (60)
針道字富沢60番地
☎ 46-3795



20 さい とう しゅう いち
齋藤 周一 (63)
箕輪一丁目20番地
☎ 23-7086



21 たか はし まさ ひろ
高橋 正弘 (63)
太田字海方作340番地1
☎ 47-3291



22 すず き とし えい
鈴木 利英 (64)
沖二丁目68番地1
☎ 23-2836



23 いち かわ きよ ずみ
市川 清純 (66)
袋内163番地
☎ 23-6347



24 い がら し かっ ぞう
五十嵐 勝蔵 (67)
茶園二丁目236番地
☎ 22-0457



25 ひら くり ゆき お
平栗 征雄 (68)
智恵子の森四丁目63番地
☎ 22-4680



26 さい とう けん いち
齋藤 賢一 (62)
丑子内165番地
☎ 22-5738

会派構成について

次のとおり、会派の届がありました。

会派名	役職	会員
真誠会 (7名)	会長 会幹事責任者 副幹事責任者 幹事責任者 副幹事責任者 幹事責任者 副幹事責任者	中佐五十五 田藤五十嵐 涼公勝 新與志 久利勝 野村平野 佐藤新野 菅野新野 菅野新野 菅野新野 菅野新野 菅野新野
市政刷新会議 「創松未来」 (7名)	会長 会幹事責任者 副幹事責任者 幹事責任者 副幹事責任者 幹事責任者 副幹事責任者	野村平野 地木多川 久利勝 菅野新野 菅野新野 菅野新野 菅野新野
あぶくま会 (5名)	会長 会幹事責任者 副幹事責任者 幹事責任者 副幹事責任者	佐藤高安 藤川橋部 源吉正匡 菅野新野 菅野新野 菅野新野
市政会 (3名)	会長 会幹事責任者 副幹事責任者	菅野新野 菅野新野 菅野新野
日本共産党 二本松市議団 (3名)	会長 会幹事責任者 副幹事責任者	菅野新野 菅野新野 菅野新野
公明党 (1名)	会長	小林均

データボックス

年齢構成は次のようになっています！

平成18年7月1日現在		平成22年7月1日現在	
30歳代	1人	30歳代	-
40歳代	3人	40歳代	1人
50歳代	17人	50歳代	12人
60歳代	9人	60歳代	13人
計	30人	計	26人
平均年齢	55.8歳	平均年齢	59.0歳